

江戸文化へ Trip!

浮世絵と落語の世界へ

今年の「つどい」は 浮世絵の解説と紙切りと落語をお楽しみ下さい。

出演者プロフィール



北上 雅能
(きたかみ まさよし)

1996(平成8)年より解説部に所属。
男性ボランティア部員の第一期生です。
最近、童話を書き始めました



宝玉齋 こん太
(ほうぎょくさい こんた)

傘の上でマリがくるくる回る曲芸や、紙からハサミで色々なものを切り出す紙切り、不思議な動きの曲ゴマなど、江戸の昔から演じられている芸を、現代の皆さんと共に楽しむ。紙とハサミで百首の歌を表現する「紙切り百人一首」はライフワーク。

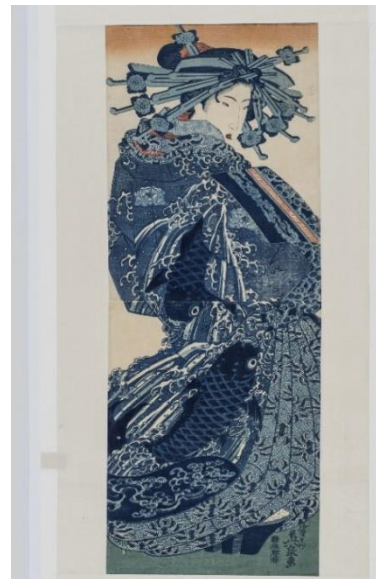


茶会家 楽志
(さかいや たのし)

飄々とした持ち味の社会人落語家。
丁寧な人物表現と癖の無い語り口に定評がある。
もう一つの持ち芸、ウクレレ漫談も最近人気が出ており、話芸に磨きをかけている。



山海愛度関会 えりをぬきたい



花魁道中 鯉の滝のぼり

プログラム

◎浮世絵の解説

『北上雅能 (きたかみ まさよし)』

歌川国貞 (蛇踊図 唐人踊)
歌川国芳 (山海愛度関会 えりをぬきたい)
溪斎英泉 (花魁道中 鯉の滝のぼり)

◎紙切り

『宝玉齋 こん太 (ほうぎょくさい こんた)』

客席のリクエストによる作品作成
～お話しながら～

◎落語

『茶会家 楽志 (さかいや たのし)』

浮世絵の花魁をモチーフに「幾代餅」